

## 金城学院創立120周年・金城学院大学設立60周年 周年記念事業に向けて

来たる2009年に学院創立120周年・大学設立60周年を迎える金城学院。  
大きな節目の年としての周年記念事業はもちろん、大学や中学・高校それぞれが考える  
キャンパス作りの構想、また将来のビジョンについて  
常任理事の丹羽氏、大学学長の柏木氏、中学・高校校長の深谷氏に語っていただきました。

# さらなる飛躍へ。金城学院

**丹羽** 来年度2009年は金城学院が創立120周年を迎え、また金城学院大学も設立60周年を迎える記念すべき年となります。節目となる年は学院がどのような歴史をたどってきたか、またその歴史を踏まえて今後どのように進んでいくべきかについて新しいビジョンを考えるいい機会であります。その点について、大学や中学・高校でもいろいろお考えのことと思います。

**柏木** 学院創立120周年であると同時に大学設立60周年でもある、こんな珍しい年はそう何度もめぐってはきませ

ん。こうした記念すべき年において、大学としては2つのビジョンを考えています。まず1つは、節目の年としてこれまでを振り返り、まとめること。キリスト教女子大として歩んできた60年を振り返りながら、これから始まる未来へのさらなる飛躍につなげたいと考えています。2つ目は新しい出発や発信をすること。これまで培ってきたものを礎として、大学として新しい何かを始めたい、また社会へ向けて発信したいと考えています。

**深谷** 120周年もそうですが、こうした区切りとなる年は今までを振り返りながら、将来へとつなげたいと考えています。私は中学・高校の校長として今年で6年目を迎えます。私が校長となった年に中高一貫制度がスタートし、ちょうど今年度で完成年を迎え、また新しい6年が始まるのです。中学と高校のキャンパスは離れていますが、6年一貫した教育の柱を築きたいと常々考えて実行し、ようやくその器は整いました。120周年を迎える来年は中高一貫教育にとっても2期目を迎える新たな年です。さらに生徒達が金城生としてふさわしい総合力を身につけられるような環境作りに励みたいと思っています。

**丹羽** 学院としては、キリスト教女子学校としての金城アイデンティティが反映されるような環境整備が必要だと考えています。現在、キャンパス整備委員会では周年記念事業に合わせてさまざまな案が出ておりますが、大学および中学・高校ではどのようなキャンパス作りをお考えでしょうか？

**柏木** 『自然は第2の聖書である』という言葉があります。自然を観察しているとそこに神の創造が見られるということですが、大学も『これは神が創られた』と感じられるような、自然と文化が調和したキャンパスにしたいと考えています。

**深谷** 中学・高校はいろいろなところから生徒が集まってくるので『ホッとする』キャンパス作りに力を入れたいと考えています。キャンパスの主役である生徒達の意見を存分に取り入れた環境作りが目標です。先日、その第一歩として生徒達のアイデアを取り入れたトイレの大改修を行いました。また白壁という場所柄、閑静な周囲の風景に溶け込むキリスト教女子学校らしいキャンパスにもしていきたいと思っています。

**丹羽** 学院全体として、こうした素晴らしいキャンパスを広く知ってもらい、社会と積極的に関わっていくこともこの機会に考えたいものです。

**深谷** 中学・高校としては社会や行



**丹羽 卓常** 常任理事

金城学院創立120周年・金城学院大学設立60周年記念事業委員会委員長として周年事業のとりまとめを行う



# らしいキャンパス作りを展開

政、地域とのつながりは大切にしていきたいです。日頃の活動が認められ、高校は名古屋市の福祉協力指定校に認定され、中学は私学で『スクールISO』を最初を取得することができました。また生徒達はボランティア活動やクラブ活動でも積極的に地域貢献を行っています。必要とされているところで奉仕する喜びを生徒達にもっと知ってほしいと考えていますし、今後も続けて行きたいと思えます。

**柏木** 大学としても地域貢献は重要だと考えています。ホスピスなどでの

音楽療法ボランティアや教会での炊き出しボランティア、先シーズンに岐阜で行われたスノーボードの大会における通訳ボランティアなど学生が社会や地域に出向いて行う活動はもちろんのこと、キャンパスを広く一般の方々が自由に出入りできるようにするなど、双方向で社会に対して開かれたキャンパスが理想です。120周年、60周年を節目に、こうしたキャンパス作りに向けて進んでいきたいと考えています。

**丹羽** 周年事業として、学院の21世紀前半のビジョンの確立と公表、学院のアイデンティティの再確認と強化、強固な財政基盤の形成、社会貢献の4つをテーマにさまざまな計画を考えています。その中の1つとして『素晴らしい同窓生』賞表彰を予定しております。これは卒業生の方で何かを成し遂げた方、あるいは今それに取り組んでいらっしゃる方を素晴らしい先輩として、表彰するというものです。やはり先輩方が成し遂げられた偉業は生徒や学生達にとっても最高のお手本であり、ぜひその素晴らしい軌跡を知ってもらい、見習っ



**金城学院大学 柏木哲夫学長**

1965年大阪大学医学部卒業、2004年金城学院大学学長就任。1994年日米医学功労賞、1998年朝日社会福祉賞受賞

てほしいと思っております。また三世代、あるいは四世代続けて金城学院で学ばれた方々の表彰も考えております。その他にも学院の建学の精神と深く関わる音楽であるバッハの「マタイ受難曲」公演や記念講演会、ランドルフ記念講堂での記念式典、卒業生と園児・生徒・学生による演奏会なども計画しております。いずれも常任理事会のみではなく、大学や中学・高校、またみどり野会役員の方々からなど今後もさまざまな方面からの協力をいただきながら、皆と一緒に周年事業を盛り上げて行きたいと思っております。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。



**金城学院中学校・高等学校 深谷昌一校長**

1979年岐阜大学大学院工学研究科修士課程修了後、金城学院中学校数学教員として就職。高等学校勤務を経て2002年4月、中学校教頭に就任。2003年金城学院中学校・高等学校長、金城学院理事就任